

十三小学校研究推進便り

10月19日(月)、5時限目 第3回の研究授業。

2年 どうぶつのひみつをみんなでさぐろう。

「ビーバーの大工事」

森 美智子 学級

<研究授業参観に当たって>

今回は、説明文の学習です。森先生自身が何度も練り直し、出来上がった指導案です。お話の順序を考え、大事な言葉や文をみつけながら内容を読み取り、それを元にクイズを作るという楽しい授業です。子ども達がより分かりやすく理解できるように、思考ツールも取り入れるそうです。今回も新しい提案をさせていただきます。皆さんで検証しましょう。

<研究授業では、つぎの視点でみてください>

「読みの観点」の習得・活用、交流の場の工夫

- ① クイズの答えを確かめることで、順序・大事な言葉や文を習得活用することができたか。
- ② 交流の場は適切であったか。

単元構成の工夫（単元を貫く言語活動）

- ① 目標に迫るための活動として、適切であったか。

言語力・表現力を高める工夫

- ① 関連図書が生かされているか。
- ② 掲示物は適切か。

<森先生のつぶやき>

単元を貫く言語活動として、クイズづくりに取り組むことにしました。読む力を活用させるための取組なのですが、いざクイズを作ってみると、答に合う問題文を作るのが結構難しいようです。問題に対して答え方があっていのかどうかを確かめるだけでも大変です。大事な言葉や文を選ぶということをどのようにつかませればよいのか悩んでいます。「すごいと思ったことや初めて知ったことをクイズにしよう」という言葉かけでは何かピンとこないようです。

クイズ作りを楽しんでいる子どもたちですが、そのクイズを上手く生かせるか、今も悩みながら進めています。

教師主導型ではなく、子どもたちが考え「読みの観点」を習得させるのは難しいと実感しています。

<授業参観後の討議会について>

ワークショップ型の討議会を行います。授業を参観しながら、気付いたことを付箋「成果（ピンク）」「課題（黄）」「改善策（青）」に記入してください。

今回も、3班（1グループ4～5人）に分かれて話し合います。裏面で班と役割を確認してください。